

別図第二号(第36条の2第1項第2号関係)

1 インマルサットC型を使用するもの

呼出しの種類 (注1)	自局の識別表示	相手局の識別表示	遭難の位置及び時刻	遭難の種類	通報に係る事項 (注2)	誤り検定符号
----------------	---------	----------	-----------	-------	-----------------	--------

注1 「10100011」(最後に送るものにあつては「10100001」)であること。

注2 船舶の進路等をコード化したものであること。

2 インマルサットF型を使用するもの

同期符号	呼出しの種類 (注1)	自局の識別表示	相手局の識別表示	通報の型式 (注2)	遭難の位置 (注3)	誤り検定符号
------	----------------	---------	----------	---------------	---------------	--------

注1 「11100011」であること。

注2 引き続きで行う通報の型式等をコード化したものであること。

注3 船舶の位置をコード化したものであること。

3 第12条第6項第2号に規定する船舶地球局の無線設備を使用するもの

ポートのバージョン	遭難の種類	固定時間	通報の型式	遭難の位置	通報に係る事項 (注1)	識別表示	遭難の時間	信頼性に関する符号	誤り検定符号
-----------	-------	------	-------	-------	-----------------	------	-------	-----------	--------

注1 船舶の進路等をコード化したものであること。